

研究機関：広島大学

研究課題名	患者自己調節鎮痛法（経静脈と経区域麻酔）による鎮痛効果および合併症の検討
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科麻酔蘇生学 教授 堤 保夫
研究期間	2018年12月14日(倫理委員会承認後)～2026年4月1日
対象者	2010年4月1日から2025年4月1日の間に、広島大学病院で術後鎮痛として経区域麻酔患者自己調節鎮痛法もしくは経静脈患者自己調節鎮痛法を受けた患者および同時期に患者自己調節鎮痛法を施行していないが、同様の術式の手術を施行した患者。
意義・目的	自施設の術後鎮痛管理について検討し見直すことが本研究の目的です。侵襲の大きい手術では術後に患者自己調節鎮痛法（経静脈と経区域麻酔）を行います。その合併症の頻度や発生状況を把握することは、安全管理や予防や対策を考える上でも重要であると考えます。また、鎮痛法は外科サイドからのリクエストや過去のデータを元に、管理方針を随時修正されています。本研究は、それらの修正がもたらす得失について検討するものです。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、生年月、病名、術式、術後の痛みの程度、血液検査・画像検査・生理検査（手術の前後に必要な応じて行われている検査の検査値）、PCA（自己調節鎮痛法）の合併症（吐気、眠気、呼吸抑制、せん妄）手術時間、術後の入院期間です。 （個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科 麻酔蘇生学 教授 堤 保夫
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりすることなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5267 広島大学病院麻酔科 職名 助教 三好 寛二